

よび主要民有鉄道の営業キロ総計は 20,276km, 軌道延長総計は 23,328km。

1 自主的に独立経営される国有鉄道

(1) メキシコ国有鉄道 Ferrocarril Nacionales de Mexico
本庁所在地 Mexico, D. F., Mexico

メキシコ最初の鉄道は 1850・9 に開通した 13km の鉄道で、現在はメキシコ・シチーとメキシコ湾岸ヴェラクルス間の幹線の一部となっている。1882年にメキシコ・シチー—トルカ間の鉄道が開通した。

1908年ナショナル・メキシカン鉄道およびセントラル・メキシカン鉄道を合併してメキシコ国有鉄道が組織された。その後の数年間にインターオーシャンニック鉄道、メキシカン・サザン鉄道、メキシカン・オリエンタル鉄道およびその他の民有鉄道を買収した。1937・6の大統領令により旧メキシコ国有鉄道は政府に接収され、1938・4の大統領令により同鉄道の経営は、鉄道労働組合代表者をもって構成される鉄道管理委員会に委任された。さらに 1942・12の大統領令によりこの鉄道管理委員会は廃止され、政府はふたたび鉄道を接収してメキシコ国有鉄道として再発足させ、以後この鉄道は自主的に独立経営されている。

メキシコ国有鉄道の線路はメキシコを南北に延び、北部国境にあるファレス、ビエドラスおよびヌエヴォアラレドにおいてアメリカの鉄道に接続し、それぞれエルパソ、イーグルパスおよびラレドに通じ、南部国境にあるスチアテにおいてグアテマラの鉄道に連絡し、アムトラに通じている。メキシコ国有鉄道の軌間は 1.435m が標準とされている。

1955年末現在の線路キロ数、車両数および営業成績は

	営業キロ	軌道延長
線路 1.435m 軌間	13,037km	15,285km
0.914m 軌間	522	582
併用軌間(3軌条)	22	119
合計	13,581	15,986
	1.435m 軌間	0.914m 軌間
車両 蒸気機関車	732両	47両
ディーゼル電気機関車	275	—
気動車・付随車	6	4
客車	983	71
貨車	14,266	1,738
事業用車両	152	8
輸送量 貨物輸送トン数	17,552,616t	
1t平均輸送キロ	476.3km	
旅客輸送人員	27,882,565人	
1人平均乗車キロ	102.6km	

(2) メキシカーノ鉄道 F. C. Mexicano メキシコ・シチーからオリサバ経由ヴェラクルスに通じている。ロス・レイエスからパソ・デル・マチョまで 103km が電化されている。軌間は 1.435m, 0.914m, 0.762m および 0.609m のものがあり、合計営業キロ 693km, 軌道延長 835km。

(3) スッド・パシフィコ・デ・メキシコ鉄道 F. C. Sud-Pacífico de Mexico 北部国境のノガレスからカリフォルニア湾岸にそって南下し、グダラハラ近くのオレンディアンにおいてメキシコ国有鉄道と接続する。軌間 1.435m, 営業キロ 1,979km, 軌道延長 2,271km。

2 交通公共事業省が直接経営する国有鉄道

(1) スレステ鉄道 F. C. Sureste カンブーチェからユカタン(Yucatan)鉄道に接続してアレンデまで通じ、連絡船によってメキシコ国有鉄道に接続する。軌間 1.435m, 営業キロ 732

km, 軌道延長 742km。

(2) リオ・マヨ鉄道 F. C. Rio Mayo カリフォルニア湾岸ナヴァアフォアからヤヴァロスまで通じている。軌間 1.145m, 営業キロ 62km, 軌道延長 69km。

(3) ソノラ・バファ・カリフォルニア鉄道 F. C. Sonora-Baja California パスクアリトスからプンジャミン・ヒルに通じている。軌間 1.435m, 営業キロ 523km, 軌道延長 549km。

3 交通公共事業省の監督下に独立経営されている国有鉄道カンサス・シチー・メキシコ・イ・オリエンテ鉄道(F. C. Kansas City, Mexico y Oriente)は、アメリカのカンサス・シチーからテキサス州のプレジジョを経由しメキシコ側のオヒナガから太平洋岸のトポロバンゴまで通ずる鉄道として計画されているが、チワワ—ラフンタ間およびフレール—サンペドロ間がまだ完成していない。軌間 1.435m, 営業キロ 516km, 軌道延長 559km。

4 民有鉄道 民有鉄道はカマルゴ・イ・オエステ鉄道(F. C. Camargo y Oeste), コアウイラ・イ・サカタカス鉄道(F. C. Coahuila y Zacatecas), インター・カリフォルニア鉄道(Cih. Del F. C. Inter-California), メキシカーノ・デル・ノルテ鉄道(F. C. Mexicano del Norte), ミナチトラン・ア・エル・カルメン鉄道(F. C. Minatitlan a el Carmen), ナコサリ鉄道(F. C. Nacozari), ノロエステ・デ・メキシコ鉄道(F. C. Noroeste de Mexico), オクシデンタル・デ・メキシコ鉄道(F. C. Occidental de Mexico), ティファナ・イ・テカテ鉄道(Cia. Del F. C. Tijuana y Tecate) およびウニドス・デ・ユカタン鉄道(F. C. Unidos de Yucatan)等の諸鉄道で、軌間は大部分が 1.435m である。その合計営業キロは 2,339km, 軌道延長は 2,603km である。

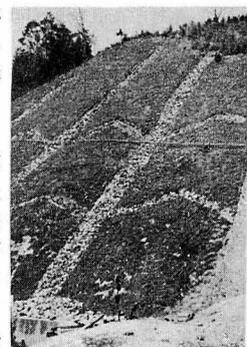
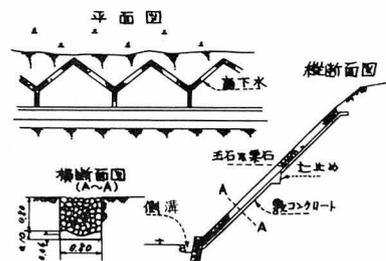
参考文献 Tothill Press Ltd. 発行 Directory of Railway Officials & Year Book 1953~54. Henry Sampson 編 World Railways 1954~55, 1956~57. (増井 肇)

めぐらげすい

盲下水

盲下水 地表面近くの滲透(しんとう)水および湧水(ゆうすい)、溜(たまり)水を集水排除するために、水路を水のとおりやすい材料(玉石、栗石、そだ等)

で填(てん)充したもの。地表水が地中内部に滲透するのを防止するばかりでなく、地中内部からの湧水を排除する作用をかねており、主として湧水ある法(のり)面、または雨水の滲透するおそれある高築堤法面に設けられる。特に湧水箇所(のり)の法面防護工としては、工費も比較的低廉で有効である。盲下水の型は、地形湧水条件等により異なるが、普通は法面にそってY型またはW型に作られる。(尾崎 寿)



盲下水

めちがい 目違 曲線軌道の継目部において、内外軌条のうち